飛騨市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果

１　点検及び評価を行った期日　　平成２６年９月２日（火）

２　点検及び評価の会議を行った場所　　飛騨市役所西庁舎３階会議室１

３　点検及び評価を行った会議　　平成２６年第８回教育委員会

４　点検及び評価を行った会議に出席した者

（飛騨市教育委員会委員）

委員長　田口　力三、委　員　田口　理子、委　員　泉　正樹、

委　員　吉木　直美、教育長　山本　幸一

（説明のため出席した飛騨市教育委員会事務局職員）

事務局長兼教育総務課長　石腰　豊　、参事兼学校教育課長　山﨑　浩巳

生涯学習課長　福永　聡　、給食センター長　村上　幸春

教育総務課係長　中平　成人

５　点検及び評価の対象事務

飛騨市教育委員会の権限に属する平成２５年度の事務

６　点検及び評価の方法

飛騨市教育委員会事務点検評価実施要領第３条の規定により、飛騨市教育委員会事務局各課が第１次評価した「飛騨市教育委員会事務点検評価資料」により、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第２７条第２項の規定に基づく飛騨市教育委員会事務点検評価委員会を開催し、教育に関し学識経験を有する者からの意見聴取を行った後、平成２６年９月２日開催の平成２６年第８回教育委員会において、平成２５年度の飛騨市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価を行った。

７　飛騨市教育委員会が飛騨市教育委員会事務点検評価委員会に意見聴取を行った期日及び場所

第１回　期日　平成２６年８月１９日（火）
　　場所　飛騨市役所西庁舎２階情報交流広場
第２回　期日　平成２６年８月２６日（火）
　　場所　飛騨市役所西庁舎３階大会議室

８　飛騨市教育委員会事務点検評価委員会の飛騨市教育委員会に対する意見

飛騨市教育委員会の権限の属する平成２５年度事務の点検及び評価については、飛騨市教育委員会事務局各課が行った第１次評価のとおりであることを認める。

９　点検及び評価の結果

別紙「平成２６年飛騨市教育委員会事務点検評価結果」のとおり

平成２６年飛騨市教育委員会事務点検評価結果

平成２５年度教育委員会の活動状況　点検評価シート
平成２５年度事務事業の執行状況　　点検評価シート

飛騨市教育委員会

点 検 評 価 シ ー ト の 目 次

担 当 課	事 務 事 業 名	評 価	ペ ー ジ
教 育 総 務 課	教育委員会活動、教育委員会事務点検評価委員会活動	A	1
	教育委員会委員研修事業	A	2
	育英基金貸付生地元就職補助事業	A	3
	育英基金繰出金（基金への積立事業）	A	4
	スクールバス購入事業	A	5
	小中学校施設整備事業	A	6
	給食設備整備事業	A	7
学 校 教 育 課	飛騨市教育研究所センター事業	A	8
	学力向上プロジェクト事業	B	9
	小学校４年生の少人数学級配置事業	A	１０
	神岡町連携型中高一貫教育事業	A	１１
	学校支援者活用事業	A	１２
	小中学校野外活動補助事業	A	１３
	運動部活動等外部指導者活用促進事業	A	１４
	小学校スクールカウンセラー派遣事業	A	１５
	児童生徒支援員配置事業	A	１６
	産休・病休等引継ぎ支援事業	A	１７
生 涯 学 習 課	家庭教育推進事業	A	１８
	乳幼児・幼児学級開催事業	A	１９

担　当　課	事　　務　　事　　業　　名	評　　価	ペ　ー　ジ
生 涯 学 習 課	飛騨市青少年育成推進員活動事業	A	２０
	飛騨市成人式	A	２１
	異文化体験推進事業（高校生海外派遣研修）	A	２２
	飛騨市青少年育成市民会議	A	２３
	飛騨市子ども会育成事業	A	２４
	社会教育主事取得研修	A	２５
	飛騨市生涯学習推進会議	A	２６
	飛騨市誰でも自主講座	A	２７
	高齢者学級	A	２８
	飛騨市文化協会補助金	A	２９
	神岡町公民館設備改修事業	A	３０
	文化財走総合調査事業	A	３１
	発掘調査事業（詳細分布調査事業）	A	３２
	文化財保護修理事業	A	３３
	保存会事業補助金	A	３４
	試掘確認調査事業（緊急発掘調査事業）	A	３５
	地域文化振興補助金	A	３６
	飛騨市美術展開催事業	A	３７
	飛騨市美術館運営事業	A	３８
	飛騨市図書館管理運営事業	A	３９
	文化交流センター正面玄関コロネード屋根工事	A	４０

担　当　課	事　　務　　事　　業　　名	評　　価	ペ　ー　ジ
生 涯 学 習 課	スポーツ推進委員活動事業	A	４１
	飛騨市体育協会活動事業	A	４２
	飛騨市スポーツ少年団育成事業	A	４３
	スポーツフェスティバル	A	４４
	山の村だいこんマラソン	A	４５
	元旦マラソン	A	４６
	坂巻公園グラウンドトイレ新築工事	A	４７
	山田体育館屋根改修工事	A	４８

様式第２号（第４条関係）

事務事業の執行状況　点検評価シート

飛騨市教育委員会

項　　目		実　　績	成　果　・　課　題	評価
教育委員会 会議の状況	会　議	【審議件数】　議案　３０件、発議　　２件 報告　１２件、合計　４４件	学校経営を始め、教育に関する案件についての議論を重ね、教育に関する議案について審議することにより教育行政の質の向上を図ることができた。	A
	協議会	【開催回数】　９回 【主な内容】 ・飛騨市育英基金の状況について ・飛騨市標準学力調査実施状況について ・飛騨市美術館の運営について ・全国学力調査の結果について ・いじめ防止基本方針について ・不登校・不登校傾向児童生徒について ・教育委員会予算方針と主要事業について	各所の教育関連の協議事項を協議し、今後の市の教育行政について、より良い方向付けが図ることができた。	
	事務点検評価委員会	【事務点検評価委員会の開催】 ・日時　平成２６年８月２１日、２７日　２回開催 ・内容　　教育委員会事務局が行った第一次評価に対する審議と意見聴取 【事務点検評価の最終評価】 ・平成２５年８月２９日開催、平成２５年第８回教育委員会において最終評価 ・議会への報告　平成２５年９月６日	教育委員会の事務事業の内容を点検、評価することで、その結果を次年度の施策につなげ、教育行政の質の向上を図ることができた。	
調査活動の状況		・小中学校の入学式、卒業式への参列 ・小中学校の学校訪問 ・小中学校の運動会、体育祭の参観 ・教育委員会委員研修の実施（詳細は、次ページに掲載）	学校行事や学校訪問を実施し、現場で児童生徒や教職員等を参観することで、学校現場の課題等の実態が把握でき、教育委員会委員としての資質向上につながるとともに、教育行政の審議に大いに寄与することができた。	A

様式第２号（第４条関係）

事務事業の執行状況　点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点施策	重点目標	平成２５年度の目標	担当課	平成２５年度の実績・成果と課題		評価
確かな学力をつける特色ある学校づくりの推進	教育委員会委員研修会の実施	教育委員会委員研修会の実施	教育総務課	〔Ｈ２５決算額〕　３０２千円 【教育委員会委員研修会】 ○日　時　平成 25 年 11 月 28 日・29 日 ○視察先 ・京都府京都市　　私立立命館小学校 授業参観と懇談会の実施 ・滋賀県長浜市　　雨森芳州庵 懇談会の実施 ○視察視点 （私立立命館小学校） ・方針と取組、基礎学力定着向上、学習意欲向上、意欲的な子をさらに伸ばす取組、指導力向上、家庭学習の取組 （雨森芳州庵） ・生涯学習担当課との連携、事務局の体制、活動場所、事業の種類、参加者の意欲向上を図る方法	【成果】 ①　県外の先進的な学校と生涯学習施設を視察することにより、教育委員会委員としての見聞を広めることができ、今後の教育行政に対する審議等の判断材料として、大いに参考となった。 ②　先進的な教育の実践校である私立立命館小学校の電子機材活用授業など、今後の市の学校教育を議論する上で、貴重な情報収集の場となった。 ③　生涯学習活動への参加者の意欲向上方法等、市の生涯学習活動のあり方についての研究課題が見つかった。 【課題】 視察により得た先進地の優れた施策や方法等については、そのまま市の教育行政に取り入れることはできないが、その内容を精査し、市民のための教育行政となるよう活かしていかなければならない。	A

様式第２号（第４条関係）

事務事業の執行状況　点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点施策	重点目標	平成２５年度の目標	担当課	平成２５年度の実績・成果と課題		評価
地域が一体となった青少年健全育成の推進	定住促進事業・・育英基金償還者地元就職補助事業	飛騨市育英基金貸付生地元就職補助	教育総務課	○地元就職された育英基金償還者に対し、年間償還額の１／２の助成を実施した。 償還者　１３２人 該当者　３２人 総　額　５，１２５，９００円 ○補助金該当者の推移 平成１８年度　７人 平成１９年度　１３人 平成２０年度　２２人 平成２１年度　２２人 平成２２年度　２３人 平成２３年度　２８人 平成２４年度　２７人 平成２５年度　３２人	【成果】 育英基金の貸付けの手引き、広報誌及び市ＨＰを活用し、育英基金の貸付時にこの制度をＰＲするとともに、貸付者には個別にこの制度のパンフレットを送付して、就職活動の際の地元就職への選択につなげることができた。 【課題】 ①　近年の貸付件数の増加に伴い、将来の制度利用該当者の増加が見込まれるため、今後の補助金交付額も増大していくと思われるため、予算確保について努力していかなければならない。 ②　この補助制度は、育英基金の貸付者のみが対象となるため、補助対象者を全ての地元就職者とする市全体の定住促進事業としての検討が必要である。	A

様式第２号（第４条関係）

事務事業の執行状況　点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点施策	重点目標	平成２５年度の目標	担当課	平成２５年度の実績・成果と課題		評価
地域が一体となった青少年健全育成の推進	育英基金事業・・育英基金繰入金（育英基金への積立て）	飛騨市育英基金繰入金 （育英基金への積立て）	教育総務課	○育英基金への積立て 平成 24 年度末基金残高　330,788,680 円 平成 25 年度基金繰入額　18,000,000 円 平成 25 年度末基金残高　348,788,680 円 基金の内訳 貸付金　326,373,850 円 現　金　22,414,830 円 ○平成２５年度の育英基金の状況 貸付者数　86 人（うち新規貸付け 21 人） 貸付金額　50,340,000 円 償還者数　132 人 償還金額　41,889,900 円 ○新規貸付者の状況 平成１６年度　20 人 平成１７年度　29 人 平成１８年度　18 人 平成１９年度　37 人 平成２０年度　41 人 平成２１年度　32 人 平成２２年度　34 人 平成２３年度　32 人 平成２４年度　32 人 平成２５年度　21 人	【成果】 育英基金の総額が、348,788,680 円となり、平成 27 年度まで毎年 35 人に対し、新規貸付けを行える環境が整った。 【課題】 ①　過去の育英基金の貸付け実績から年度当たりの新規貸付件数を 35 人と想定しているが、今後も新規貸付希望者全ての方に貸付けを行うためには、育英基金の積立てがさらに必要となるので、その予算確保に努めなければならない。 （基金目標額：５８８，０００千円） ②　育英基金償還額の毎月の償還額を減らすため、子育て支援策として、償還期間を延伸する検討が必要である。 （大学進学の場合の現行の 償還額：２５，０００円／月）	A

様式第２号（第４条関係）

事務事業の執行状況　点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点施策	重点目標	平成２５年度の目標	担当課	平成２５年度の実績・成果と課題		評価
快適な教育環境の整備	スクールバス購入事業	スクールバス購入事業 老朽化したスクールバスを更新基準（購入後１５年以上経過・走行距離２０万km以上）に従い、更新購入する。	教育総務課	〔Ｈ２５決算額〕　１２，２５４千円 ○神岡３号車　中型バス１台（４５人乗り） 麻生野線	【成果】 老朽化した車両を更新購入することで、安全安心な通学手段を確保する。	A

様式第２号（第４条関係）

事務事業の執行状況　点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点施策	重点目標	平成２５年度の目標	担当課	平成２５年度の実績・成果と課題		評価
快適な教育環境の整備	小中学校施設整備事業	**古川西小学校** ・保健室ＦＦ式石油暖房器設置 **河合小学校** ・保健室エアコン設置 ・バス車庫屋根雪割取付け **宮川小学校** ・職員玄関及び燃料タンク上部屋根設置 **神岡小学校** ・普通教室棟階段補助手摺り取付け ・普通教室棟屋根、軒天井改修 ・トイレ改修実施設計 **山之村小中学校** ・地下燃料タンク改修 ・保健室エアコン設置 ・玄関前バスロータリー舗装改修 ・屋根アスファルト防水改修 **古川中学校** ・管理棟２階網戸設置	教育総務課	〔Ｈ２５決算額〕　７２，３９６千円 **古川西小学校** ・保健室ＦＦ式石油暖房器設置工事完成 **河合小学校** ・保健室エアコン設置工事完成 ・バス車庫屋根雪割取付工事完成 **宮川小学校** ・職員玄関及び燃料タンク上部屋根設置工事完成 **神岡小学校** ・普通教室棟階段補助手摺取付工事完成 ・普通教室棟屋根、軒天井改修工事完成 ・トイレ改修実施設計委託業務完成 **山之村小中学校** ・地下燃料タンク改修工事完成 （平成２４年度繰越明許費） ・保健室エアコン設置工事完成 ・玄関前バスロータリー舗装改修工事完成 ・屋根アスファルト防水改修工事完成 **古川中学校** ・管理棟２階網戸設置工事完成	【成果】 計画的に整備を進めてきた全ての小中学校保健室へのエアコン設置完了等、限られた予算の範囲以内で、事業の優先度により必要な学校施設整備を行うことができた。また、次年度の神岡小学校トイレ改修工事に向けて、実施設計を完了することができた。 【課題】 平成２４年１２月をもって、小中学校施設の耐震改修が終了したが、体育館の天井落下防止等、非構造部材の耐震化や神岡小学校の大規模改造等、学校施設整備には、まだまだ、大型の事業実施が必要なため、国の補助制度や有利な条件での起債事業の活用により、必要な予算確保に努めていかなければならない。	A

様式第２号（第４条関係）

事務事業の執行状況　点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点施策	重点目標	平成２５年度の目標	担当課	平成２５年度の実績・成果と課題		評価
快適な教育環境の整備	給食設備整備事業	給食設備整備事業 ・給食管理システム更新事業（河合給食センター・神岡給食センター） ・防虫防鼠駆除委託事業（河合給食センター・神岡給食センター・山之村小中学校調理場） ・河合給食センター調理場施設営繕事業 ・山之村小中学校調理場施設営繕事業	教育総務課	○給食管理システム更新導入 （１，９９５，０００円） ・ノートパソコン　２台 ・給食管理システム　２式 （給食延べ食数） 河合給食センター　２１，９０６食 神岡給食センター　１２８，１５５食 山之村小中学校調理場　３，６８０食 （参考） 古川国府給食センター　３５１，１０９食 （古川町部分のみ） ○防虫防鼠駆除委託の実施 （８２２，９９０円） ○河合給食センター水周り修繕工事の完成 （５９８，５００円） ○山之村小中学校調理場エアコン設置工事の完成　（６９８，２５０円）	【成果】 ①　導入後５年経過した旧システムを更新するに当り、飛騨管内各市村が導入しているシステムを導入することにより、栄養教諭や栄養職員の給食管理事務の効率化を図ることができた。 ②　市内学校給食調理場の防虫防鼠駆除委託の実施により、調理場の衛生環境維持に格段の成果が得られるようになった。 ③　安全安心な給食提供に資するため、河合給食センター及び山之村小中学校調理場施設の営繕工事の実施により、調理場の施設環境が改善された。	A

様式第２号（第４条関係）

事務事業の執行状況　点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点施策	重点目標	平成２５年度の目標	担当課	平成２５年度の実績・成果と課題		評価
確かな学力をつける特色ある学校づくり	教職員の指導力向上	飛騨市研究所センター事業 飛騨市教育研究所に次長（教科指導員）、教育相談員を配置して組織化を図り、事業内容を教員研修、教育相談、学校情報化推進の３点から見直し、飛騨市の教育センターとしての機能を充実させて、市小・中学校教育指導の方針と重点「学力向上」「いじめを絶対許さない学校づくり」「不登校０」を達成する。	学校教育課	〔Ｈ２５決算額〕　１，６４５千円 ⑴　研究所の整備 ・学校教育課内に研究所を設置 ・教育相談室（グリーンルーム）は古川町公民館１階に設置 ・次長（１種臨時）賃金 ⑵　研究所センター事業 ①教員研修事業 ・指導力向上研修事業 年１０回講座実施 参加者総数１４６名 ・飛騨市教育研究会　年４回実施 ・教育実践論文　審　査　１月１７日 表彰式　３月　３日 ・児童生徒の作品展等の実施 （科学作品・読書感想文審査、 音楽会・図工美術） ②教育相談事業 ・教育相談室設置による不登校児童生徒適応指導 ・不登校児童生徒保護者教育相談 ③　学校情報化推進事業 ・飛騨市教育研究所ＨＰ開設 ・飛騨市内小中学校ＨＰ整備	【成果】 ①　市研究所主催の研修講座を年間10回実施し、教員の指導力向上、児童生徒支援員や図書整理員の資質向上を図ることができた。 ②　不登校児童生徒への適応支援、保護者との教育相談を実施し、不登校傾向の児童生徒の学校登校への支援ができた。 ③　市研究所のＨＰを開設し、学校ＨＰと研究所ＨＰとのリンク、様式の整備を行い、より活用しやすくすることができた。 【課題】 市の課題を踏まえ、教職員のニーズに応じた研修講座の内容を、さらに充実させていく必要がある。	A

様式第２号（第４条関係）

事務事業の執行状況　点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点施策	重点目標	平成２５年度の目標	担当課	平成２５年度の実績・成果と課題		評価
確かな学力をつける特色ある学校づくり	市学力向上プロジェクト委員会による学力向上	学力向上プロジェクト事業 学力向上プロジェクト委員会による家庭と連携した学習習慣の確立を図り、２つの学力テストを実施し、「定着度」と「伸び」から取組を評価し、確実な事後指導と各校の学力向上計画改善により、児童生徒一人一人に確かな学力をつける。	学校教育課	〔Ｈ２５決算額〕　６，０５０千円 ①　学力の検証と指導方法の工夫・改善の２つの観点からの学力調査の実施。 年ごとの「一人一人の伸び」 市標準学力調査 〔H25 決算額〕　２，００６千円 実 施 日　平成２６年１月３１日 調査内容　（国語・算数・数学・理科） 対 象 者　小１～中３　２，０５６名 ②　基礎学力定着支援事業 指定校による指導方法改善の推進とその実践公開 〔H25 決算額〕　４６０千円 古川西小学校公表会：H25 年 10 月 31 日 古川中学校公表会　：H25 年 11 月　7 日 ③　スーパー少人数指導事業 習熟別少人数指導により、きめ細やかな指導を徹底 〔Ｈ２５決算額〕　３，５８４千円 数学　２名の指導員 古川中学校　１名 神岡中学校　１名	【成果】 ①　全国学力・学習状況調査及び、市標準学力調査結果より、中学校は、国語・数学ともに全国平均正答率を上回り、基礎学力の定着が図られている。 ②　基礎学力定着支援事業公表会には、市内の全教員が参加して、指定校の取組を自校に広めることができた。特に、中学校公表会では市教科研究会と連携し、小中教員が合同で、小学校からの教科専門性向上につながる研修を実施することができた。 ③　習熟度別少人数指導コースを拡充したことで、より発展的な力をつけるとともに、実施学年全体の学力の底上げにつながっている。 【課題】 小学校の中高学年に基礎学力定着の弱さが見られるので、授業の質を高めるための授業改善に取り組む必要がある。	B

様式第２号（第４条関係）

事務事業の執行状況　点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点施策	重点目標	平成２５年度の目標	担当課	平成２５年度の実績・成果と課題		評価
確かな学力をつける特色ある学校づくり	市学習習慣確率指針による学力向上	小学校４年生の少人数学級配置事業 小学校１・２・３年生までの３５人学級編制を市独自に４年生まで継続し、よりきめ細やかな指導を徹底して、義務教育の初期の段階から基本的な学習習慣を確立させ、児童生徒一人一人の学力向上を目指す。	学校教育課	〔Ｈ２５決算額〕　２，５４８千円 ＜古川小学校４年生＞ 通常学級児童数　１１４名 国の基準による学級編制では、１学級当たり４０人編制となり、３学級となる。 （１学級３８人・３８人・３８人） ↓ 本事業による学級編制では、１学級当たり３５人編制となり、４学級となる。１学級当たり８～１０人減となる。 （１学級２９人・２９人・２８人・２８人）	【成果】 ①　１学級当たりの児童数が１０人減となり、１・２・３年次と同じ学級編制で、４年次もきめ細やかな個に応じた指導を行うことができた。 ②　発言や発表の機会が増え、より積極的に授業に参加する児童が増えた。 ③　教員と児童との間の関係が緊密化し、生徒指導上の課題に即した個別指導が充実し、より良い人間関係が築かれている。 ④　教室にゆとりが生じ、教育活動の幅が広がるなど、教育効果は大きい。 ※　平成２５年度からは、県において小３の３５人学級編制が実施されたため、市では小４において３５人学級編制を実施している。	A

様式第２号（第４条関係）

事務事業の執行状況　点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点施策	重点目標	平成２５年度の目標	担当課	平成２５年度の実績・成果と課題		評価
確かな学力をつける特色ある学校づくり	市学習習慣確率指針による学力向上	神岡町連携型中高一貫教育事業 中高一貫教育に取り組むことにより、飛騨市全児童生徒に確かな学力を付け、飛騨市に愛着と誇りをもち、貢献できる子を育てる。	学校教育課	〔Ｈ２５決算額〕　０円 ○神岡中学校・飛騨神岡高等学校 ・市学習習慣確立指針を受けた授業改善についての継続的、組織的取組 ・中学校２年生の高校の授業「体験授業」の実施 ・中高教員の授業交流の実施 ・中学校３年生対象「高校一日入学」実施 ・中学校２年生対象「出前講座」実施 ・地域の人や産業から学ぶ体験学習の実施 中学校：「職場体験学習」 高　校：「インターンシップ」 ・中学校３年生が高校での「部活動見学」「部活動体験」の実施 ・小中高による地域挨拶運動の実施、地元祭礼等への積極的参加 ・６月５日（第１回評価委員会） 神岡中学校授業参観の実施 ・１２月１１日（第２回評価委員会） 飛騨神岡高等学校授業参観の実施	【成果】 ①　平成25年度の神岡地区中学卒業生の飛騨神岡高校入学者の占める割合は、５７％で６割近い。 （Ｈ２４　５９％） （Ｈ２３　４３％） ②　中学校２年生を対象とした高校参観や授業体験等の実施により、早い時期から自分の生き方、進路や高校選択について考えることができた。 ③　小中高による地域挨拶運動を実施し、小中高１２年間のつながりをより深めることができた。 ④　中高教員による授業交流、教科部会を実施することができた。 ⑤　年２回開催する評価委員会での意見を、連携実施校の教育課程にさらに活かしていく。	A

様式第２号（第４条関係）

事務事業の執行状況　点検評価シート

飛騨市教育委員会

<table>
<tr><th>重点施策</th><th>重点目標</th><th>平成２５年度の目標</th><th>担当課</th><th colspan="2">平成２５年度の実績・成果と課題</th><th>評価</th></tr>
<tr>
<td>ふるさとを愛する豊かな心づくり・健やかな体づくり</td>
<td>ふるさとを愛する心の育成</td>
<td>学校支援者活用事業

地域の専門的な知識や技能を有した方を、学校内での授業や総合学習、クラブ活動、学校行事等の学校支援者として招聘し、指導援助を行うことで、より充実した教育活動と共同教育を推進するとともに、児童生徒の郷土を愛する心を育てる。</td>
<td>学校教育課</td>
<td>〔Ｈ２５決算額〕　８４５千円

学校支援者活用事業実績
<table>
<tr><th></th><th>利用回数</th><th>支援者数</th><th>利用時間</th></tr>
<tr><td>古川小学校</td><td>14</td><td>22</td><td>285</td></tr>
<tr><td>古川西小学校</td><td>7</td><td>11</td><td>140</td></tr>
<tr><td>河合小学校</td><td>9</td><td>12</td><td>120</td></tr>
<tr><td>宮川小学校</td><td>8</td><td>12</td><td>76</td></tr>
<tr><td>神岡小学校</td><td>11</td><td>23</td><td>140</td></tr>
<tr><td>山之村小中学校</td><td>11</td><td>20</td><td>70</td></tr>
<tr><td>古川中学校</td><td>4</td><td>14</td><td>111</td></tr>
<tr><td>神岡中学校</td><td>5</td><td>12</td><td>114</td></tr>
<tr><td>計</td><td>69</td><td>126</td><td>1,056</td></tr>
</table></td>
<td>【成果】
①　専門的な知識や技能を有した地域人材による児童生徒への指導援助で、学習内容をより一層充実することができた。

②　「平成２５年度岐阜県ふるさと教育表彰」において、河合小学校・山之村小中学校が優秀賞、古川西小学校が奨励賞を受賞し、これまでのふるさと学習の実績が認められた。

③　学校支援者の指導支援により、教員も児童生徒と共に郷土の歴史文化を学び、ふるさと学習に対する指導力の向上につながっている。</td>
<td>A</td>
</tr>
</table>

様式第２号（第４条関係）

事務事業の執行状況　点検評価シート

飛騨市教育委員会

<table>
<tr><th>重点施策</th><th>重点目標</th><th>平成２５年度の目標</th><th>担当課</th><th colspan="2">平成２５年度の実績・成果と課題</th><th>評価</th></tr>
<tr>
<td>ふるさとを愛する豊かな心づくり・健やかな体づくり</td>
<td>ふるさとを愛する健やかな身体の育成</td>
<td>小中学校野外活動補助事業

雪国飛騨市の特徴を生かしたスキー活動を通して、降積雪によりグラウンドが使用できない冬期における児童生徒の体力づくりを図るとともに、親子でのスキー活動の取組による家族の絆を深め、児童生徒の郷土を愛する心を育てる。
また、市内スキー場を小中学生やその保護者等が利用することにより、市内施設の活性化を図る。</td>
<td>学校教育課</td>
<td>〔Ｈ２５決算額〕　１，０１１千円

〔リフト券購入補助券配布児童生徒数〕
<table>
<tr><th>対象スキー場名</th><th>H24</th><th>H25</th></tr>
<tr><td>飛騨かわいスキー場</td><td>761 人</td><td>705 人</td></tr>
<tr><td>ひだ流葉スキー場</td><td>337 人</td><td>306 人</td></tr>
<tr><td>計</td><td>1,098 人</td><td>1,011 人</td></tr>
</table></td>
<td>【成果】
①　降積雪によるグラウンドの使用ができない冬期において、スキー活動は冬期間の体力づくりや雪国飛騨市における特色ある教育活動として活用されている。

②　親子で共に取り組む活動として、家族の絆をより深め、児童生徒の郷土愛を育む価値ある活動であり、学校教育の方針である「ふるさとを愛し　たくましく生きる力を育む教育」につながっている。</td>
<td>A</td>
</tr>
</table>

様式第２号（第４条関係）

事務事業の執行状況　点検評価シート

飛騨市教育委員会

<table>
<tr><th>重点施策</th><th>重点目標</th><th>平成２５年度の目標</th><th>担当課</th><th colspan="2">平成２５年度の実績・成果と課題</th><th>評価</th></tr>
<tr>
<td>ふるさとを愛する豊かな心づくり・健やかな体づくり</td>
<td>ふるさとを愛する健やかな身体の育成</td>
<td>運動部活動等外部指導者活用促進事業

部活動担当教員と外部指導者の連携・協力により、指導者としての資質向上を図るとともに、部活動を通じて生徒の健全育成を推進する。</td>
<td>学校教育課</td>
<td>〔Ｈ２５決算額〕　９８８千円

〔部活動外部指導者数・年間指導回数〕
<table>
<tr><th>学校名</th><th>部　名</th><th>人数</th><th>回数</th></tr>
<tr><td>古川中学校</td><td>クロスカントリー
ソフトボール
バスケットボール
ソフトテニス
サッカー
吹奏楽、合唱
柔道</td><td>9 人</td><td>349 回</td></tr>
<tr><td>神岡中学校</td><td>バスケットボール
アルペンスキー
野球、卓球
剣道</td><td>8 人</td><td>250 回</td></tr>
<tr><td>山之村中学校</td><td>クロスカントリー</td><td>4 人</td><td>18 回</td></tr>
<tr><td colspan="2">計</td><td>21 人</td><td>617 回</td></tr>
</table>
</td>
<td>【成果】
①　部活動担当教員と外部指導者が連携、協力しながら指導することで、生徒の技能向上及び健全育成に効果を上げている。

②　専門的な外部指導者との連携により、部活動担当教員の指導力向上にもつながっている。

③　平成２５年度も全国大会出場や県大会上位入賞した団体・個人があり、市民に明るい話題を提供できた。

【課題】
　学校からの外部指導者推薦（要望）に対する予算確保に努める。</td>
<td>A</td>
</tr>
</table>

様式第２号（第４条関係）

事務事業の執行状況　点検評価シート

飛騨市教育委員会

<table>
<tr><th>重点施策</th><th>重点目標</th><th>平成２５年度の目標</th><th>担当課</th><th colspan="2">平成２５年度の実績・成果と課題</th><th>評価</th></tr>
<tr>
<td>一人一人を大切にし、一人一人のよさを伸ばす支援づくり</td>
<td>一人一人のよさを伸ばす教育の推進</td>
<td>小学校スクールカウンセラー派遣事業

不登校や登校するが教室に入ることができない児童・生徒を減らすために、スクールカウンセラーによる当該児童・生徒やその保護者のカウンセリングを行う。また、スクールカウンセラーの高度な専門性と豊富な経験を十分に活用し、教員の教育相談に関する資質や能力を向上させる。</td>
<td>学校教育課</td>
<td>〔Ｈ２５決算額〕　１，０７３千円

<table>
<tr><th>学 校 名</th><th>計画時間数</th><th>実績時間数</th></tr>
<tr><td>古川小学校</td><td>30 時間</td><td>14　時間</td></tr>
<tr><td>古川西小学校</td><td>56 時間</td><td>51　時間</td></tr>
<tr><td>河合小学校</td><td>42 時間</td><td>41　時間</td></tr>
<tr><td>宮川小学校</td><td>22 時間</td><td>22　時間</td></tr>
<tr><td>神岡小学校</td><td>16 時間</td><td>20　時間</td></tr>
<tr><td>緊 急 対 応</td><td>54 時間</td><td>66.5 時間</td></tr>
<tr><td>合　　計</td><td>220 時間</td><td>214.5 時間</td></tr>
</table>
</td>
<td>【成果】
①　小学校から保護者等への教育相談を実施したことで、中学校での生活の不安や悩みの解消につながっている（中１ギャップの解消）。

②　管理職・主任・担任等と連携することで、相談事案に対する校内での組織的対応力が向上している。

③　学校と市教育研究所（常勤教育相談員）が情報共有することで、教育相談事案に早期に対応することができた。</td>
<td>A</td>
</tr>
</table>

様式第２号（第４条関係）

事務事業の執行状況　点検評価シート

飛騨市教育委員会

<table>
<tr><th>重点施策</th><th>重点目標</th><th>平成２５年度の目標</th><th>担当課</th><th colspan="2">平成２５年度の実績・成果と課題</th><th>評価</th></tr>
<tr>
<td>一人一人を大切にし、一人一人のよさを伸ばす支援づくり</td>
<td>一人一人を大切にする教育の推進</td>
<td>児童生徒支援委員配置事業

各小中学校の通常学級において、発達障がい等で様々な支援を必要とする児童生徒に対して、学校生活や学習活動における支援を行うとともに、所属する学級・学年・学校全体の学習習慣の確立を図り、一人一人の学力を伸ばす。</td>
<td>学校教育課</td>
<td>〔Ｈ２５決算額〕
小学校　１５，５５４千円
中学校　３，０６３千円

〔支援員の配置状況〕
<table>
<tr><th></th><th>H24</th><th>H25</th><th>H26</th></tr>
<tr><td>古川小学校</td><td>7 人</td><td>7 人</td><td>7 人</td></tr>
<tr><td>古川西小学校</td><td>4 人</td><td>4 人</td><td>4 人</td></tr>
<tr><td>河合小学校</td><td>1 人</td><td>1 人</td><td>1 人</td></tr>
<tr><td>宮川小学校</td><td>0 人</td><td>0 人</td><td>0 人</td></tr>
<tr><td>神岡小学校</td><td>7 人</td><td>6 人</td><td>6 人</td></tr>
<tr><td>古川中学校</td><td>2 人</td><td>2 人</td><td>2 人</td></tr>
<tr><td>神岡中学校</td><td>1 人</td><td>1 人</td><td>1 人</td></tr>
<tr><td>計</td><td>22 人</td><td>21 人</td><td>21 人</td></tr>
</table></td>
<td>【成果】
①　各校の支援計画に基づいた支援員の配置と適切な支援により、落ち着いて学校生活を送り、学習活動に取り組む児童生徒が増えている。

②　対象児童生徒が安定するとともに、学級・学年・学校全体が落ち着き、学習習慣の確立を図ることができた。

③　対象児童生徒は、クラス替えや進級・進学などの環境の変化に対応することに抵抗が大きいため、担任と支援員が連携して支援計画を作成し、身に付いたことがさらに伸びるよう次につないでいる。</td>
<td>A</td>
</tr>
</table>

様式第２号（第４条関係）

事務事業の執行状況　点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点施策	重点目標	平成２５年度の目標	担当課	平成２５年度の実績・成果と課題		評価
一人一人を大切にし、一人一人のよさを伸ばす支援づくり	一人一人を大切にする教育の推進	産休・病休等引継支援事業 産休や病休、長期休業による教員の変更は、児童生徒の不安や後任者への負担も大きい。そこで、本事業により１か月の引継期間を設け、計画的に引継ぎ、児童生徒が安心して学校生活を送ることができるよう支援する。	学校教育課	〔Ｈ２５決算額〕　０千円 産休教員引継ぎ　０名 病休・その他引継ぎ　０名	【成果】 ①　平成２５年度は、該当者なし ②　児童生徒が安心して学校生活を送る上で、産休、病気等長期休業による教員の年度途中の変更は、児童生徒と教員双方に支障をきたすことから、本制度は、最も有効な施策である。	A

様式第２号（第４条関係）

事務事業の執行状況　点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点施策	重点目標	平成２５年度の目標	担当課	平成２５年度の実績・成果と課題		評価
親の育ちを応援し地域のつながりをつくる家庭教育の推進	家庭教育推進事業	家庭教育推進事業 家庭が本来果たすべき役割を改めて見つめ直す機会となるよう、小中学生の保護者が子どもの発達段階に応じて、家庭教育の意義と役割を保護者自身が学習したり、親子でふれあえる場を提供する。	生涯学習課	〔Ｈ２５決算額〕　４３４千円 飛騨市内の小中学校８校において、学校の協力によりＰＴＡ役員を中心に保護者が、自主的に家庭教育学級を実施した。 延べ実施回数　７１回 延べ参加者数　３，９８９人 ＜講演会＞ ・家庭教育　・食育　・人権 ・ネット社会　・進路選択 ＜親子活動＞ ・親子クッキング　・星空観察 ・親子登山 ＜体験活動＞ ・心肺蘇生講習　・給食試食会 ＜家庭での取組＞ ・ニコニコシート　・弁当の日	【成果】 ①　各校に家庭教育学級担当職員、各ＰＴＡに家庭教育学級担当を置き、計画的・継続的な活動が展開された。 ②　地域ごとに特色あるテーマを取上げ、親子のふれあい活動とともに、子どもたちがふるさとの素晴らしさを再確認する機会となった。 ③　生活習慣や学習習慣の確立など家庭で継続的に実施できる在宅型の活動に積極的に取り組む学校もみられた。	A

様式第２号（第４条関係）

事務事業の執行状況　点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点施策	重点目標	平成２５年度の目標	担当課	平成２５年度の実績・成果と課題		評価
親の育ちを応援し地域のつながりをつくる家庭教育の推進	乳幼児・幼児学級開催事業	乳幼児・幼児学級開催事業 ①　市内に在住する乳幼児、幼児の親子を対象に、子どもの成長にあわせた、段階的な親の学びの場や親子の交流の場とする。 ②　同じ年齢の子どもや親の仲間との最初の出会いの場ともなり、親が主体となった学級の運営を通じて、親の学びや成長につなげる。	生涯学習課	〔Ｈ２５決算額〕　１，８９３千円 ≪乳幼児学級≫ ①　市内の３か所の子育て支援センター（古川、神岡、河合、宮川）にて、市内の就園前の乳幼児とその保護者を対象に月１回程度の通年の学級を実施した。 ②　夏には、合同講演会として、親子のふれあいを目的とした人形劇を実施した。 【主な内容】 ・食育、ベビーマッサージ、救急救命講習会ふるさと体験、家族運動会、手作りおもちゃ 延べ実施回数　６９回 延べ参加者数　１，５７７名 ≪幼児学級≫ ①　市内の保育園８園に在園する子どもと親を対象に、幼児学級委員を中心に企画運営を行う。 ②　秋には合同講習会として、市内全ての保育園児の子どもを持つ親を対象とした家庭教育講演会を実施した。 【主な内容】 ・郷土料理五平餅づくり、いのちの話 延べ実施回数　１９回	【成果】 ①　同じ年齢や同じ地域に住む子どもや親達の交流の場となった。 ②　学級を通して、自分の子育てについて、振り返る機会となった。 【課題】 母親向きの内容が多かったので、父親も参加しやすい内容を増やしていきたい。	A

様式第２号（第４条関係）

事務事業の執行状況　点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点施策	重点目標	平成２５年度の目標	担当課	平成２５年度の実績・成果と課題		評価
地域が一体となった青少年健全育成の推進	飛騨市青少年育成推進員活動事業	青少年育成推進員活動 青少年の健全育成は、家庭・学校・地域の連携強化により、一体となって取り組むということで、三者がそれぞれ活動するのではなく、お互いに手を取り合い活動する。	生涯学習課	〔Ｈ２５決算額〕　５２２千円 組織：飛騨市青少年育成推進連絡協議会があり、その中に各町で組織する部会がある。（４部会） ○青 連 協　会議：１回（11/22） ○古川部会　会議６回 （5/17、5/23、8/3、10/4、11/28、3/18） ・ふれあい集会 全体会議（6/14） 地区会議 19 か所（7/2～7/19） ・地域ふれあい講演会（10/18 古川小学校） ○河合部会　会議：3 回（5/28、9/4、11/16） ・ふるさと大運動会参加（6/8 河合小学校） ・河合町地域振興協議会参加（7/9） ・ふるさと交流会（12/3　河合小学校） ○宮川部会　会議：3 回（6/4、7/4、11/8） ・心のひろば（7/10　宮川町公民館） ・ケータイ安全教室（12/25　宮川小学校） ○神岡部会　会議：1 回（5/27） ・夜間街頭指導（補導員・警察署合同） （8/12、8/26　神岡町内） ・街頭指導（7/6、12/22）	【成果】 各地域（４部会）において、推進員を中心に青少年の健全育成に向けて関係組織等と共通認識を持ち、連携を取りながら事業を進めることができた。 【課題】 引き続き、家庭・学校・地域が連携して取り組むことを推進していく。 急速に変わる子供たちを取り巻く状況に対応した活動を目指し、地域の様々な大人たちが参加できる活動を継続・模索していく。	A

様式第２号（第４条関係）

事務事業の執行状況　点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点施策	重点目標	平成２５年度の目標	担当課	平成２５年度の実績・成果と課題		評価
地域が一体となった青少年健全育成の推進	飛騨市成人式	飛騨市成人式 【目的】 国民の祝日に関する法律第２条の成人の日により、「おとなになったことを自覚し、みずから生き抜こうとする青年を祝いはげます」ことを趣旨とする。	生涯学習課	〔Ｈ２５決算額〕　１，２７２千円 【平成２６年飛騨市成人式】 期日：平成２６年１月３日 対象：平成　５年４月２日 ～平成６年４月１日生 （古川会場） 会場：飛騨市文化交流センター 対象：１６０名、出席者　１４４名 （河合会場） 会場：河合町公民館 対象：１１名、出席者１０名 （宮川会場） 会場：宮川町公民館 対象：８名、出席者８名 （神岡会場） 会場：神岡町公民館 対象：９４名、出席者８６名	【成果】 ①　市内４会場にて実施 ②　新成人対象者２７９名のうち、２４８名が出席した。 ③　記念品として、成人式当日撮影した写真を掲載した成人式記念アルバムを出席者へ配布した。 【課題】 数年後には、４会場での開催を見直すことも検討していく。	A

様式第２号（第４条関係）

事務事業の執行状況　点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点施策	重点目標	平成２５年度の目標	担当課	平成２５年度の実績・成果と課題		評価
地域が一体となった青少年健全育成の推進	異文化体験推進事業（高校生海外派遣研修）	異文化体験・高校生海外研修 ①　高校生という多感な時期に海外研修を実体験させることにより、飛騨市に関わる若者の教育と人材育成を進める。 ②　市内の高校に通う生徒及び市外の高校に通う市内在住の生徒に募集を行う。	生涯学習課	〔Ｈ２５決算額〕　３，８５４千円 ○飛騨神岡高校から３名、吉城高校から５名、計８名をオーストラリアへ派遣 ○事前説明会（７月１６日） ○市長激励会（８月　９日） ○経 費 内 訳（１／３自己負担） 委　託　料：３，０１２千円 うち自己負担（１，００４千円） ○主な日程 ・8/11　飛騨市出発 ・8/12　オーストラリア ブリスベン到着 クイーンズランド大学見学 ホームステイ先到着 ・8/13～8/17 午前：語学研修 午後：異文化交流活動 高校の授業参加 各種文化体験等 オーストラリア ブリスベン出発 ・8/18　飛騨市到着	【成果】 オーストラリア　ブリスベンでホームステイなどによる異文化体験と、セント・ポール高校での質の高い語学研修 【課題】 ①　高校生の授業や夏季休暇中の計画に支障がないよう盆間近に実施するが、この期間は航空券などが高く、経費がかかる。 ②　どのような目的を持った人を選考するかなどの選考条件や、研修成果を市民に還元する方法の検討。	A

様式第２号（第４条関係）

事務事業の執行状況　点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点施策	重点目標	平成２５年度の目標	担当課	平成２５年度の実績・成果と課題		評価
地域が一体となった青少年健全育成の推進	飛騨市青少年育成市民会議	青少年育成市民会議 市内の関係機関・団体との連携を密にし、青少年の健全な育成を図る。	生涯学習課	〔Ｈ２５決算額〕　１３１千円 ○6 月 23 日　少年の主張大会 会　場：古川町公民館　　大会議室 出場者：小中学生各８名 ○「地域のおじさん、おばさん運動」加入促進運動　　新規加入者：１５６名 ○啓発活動「広報ひだ」 7 月号：青少年の非行・被害防止全国強調月間 11 月号：子ども・若者育成支援強調月間 1 月号：家庭の日普及実践強調月間 ○県民大会参加：11 月 10 日 ○わが家、わが町、家庭の日発表会参加 1 月 19 日 ○生涯学習推進会議や青少年育成推進連絡協議会との連携 ○ふれあい集会などの地区集会のほか、学校と連携した青少年健全育成の取り組みなどへの参加	【成果】 ①　各種団体が青少年の健全育成に向け、共通認識を持つことができ、連携を深めることができた。 ②　青少年の健全育成に向け、家庭・学校・地域が共通認識を持ち、お互いに手を取りあい一体となって取り組むことの重要性や必然性を、徐々にではあるが再認識できつつある。今後も継続して行う。	A

様式第２号（第４条関係）

事務事業の執行状況　点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点施策	重点目標	平成２５年度の目標	担当課	平成２５年度の実績・成果と課題		評価
地域が一体となった青少年健全育成の推進	飛騨市子ども会育成事業	子ども会の育成 【目的】 子ども会の組織の発展及びにその活動の促進充実を通じて、児童生徒の健全育成を図ることを目的とする	生涯学習課	〔Ｈ２５決算額〕　１，０３４千円 ○飛騨市内子ども会員数 古川町　１，３４８名　河合町　９３名 宮川町　５７名　神岡町　４７６名 ○各町の行事 古川町：小学校高学年を対象に、７月に交流会（キャンプ）を開催 河合町：子ども会員を対象に、８月に交流会（ふれあい広場）を開催 宮川町：子ども会員を対象に、１０月に交流会（ふれあい広場）を開催 神岡町：子ども会員を対象に、８月に球技大会を開催 ○市子ども会の活動 例年開催している交流会を、飛騨地区子ども会育成協議会の研修会と合同で、乗鞍青少年自然の家において実施した。 また、７月には指導者研究会を行い、各地区の事業紹介や講演を行った。	【成果】 小中学生を対象にリーダー養成を目的とした行事を行い、活動の充実や児童生徒の健全育成を図ることができた。 【課題】 ①　少子化により、子どもの数が減ってきているため、子ども会の合併を進める。 ②　保護者には子ども会運営について理解していただくとともに、子ども自身が企画運営する本来の子ども会活動を目指す。	A

様式第２号（第４条関係）

事務事業の執行状況　点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点施策	重点目標	平成２５年度の目標	担当課	平成２５年度の実績・成果と課題		評価
社会教育関係団体と人材の育成	社会教育主事取得研修	社会教育主事資格取得研修 社会教育を行う者に専門的、技術的な助言と指導を与えるため、教育委員会事務局に社会教育主事を置く。	生涯学習課	〔Ｈ２５決算額〕　３４０千円 ○社会教育法 社会教育法第９条の２では、市町村の教育委員会事務局は社会教育主事を置くと定められている ○飛騨市の状況 飛騨市においては、近年社会教育主事の研修を受講しておらず、人事異動等で社会教育主事が少なくなっているため、平成２４年度から計画的に受講させ、社会教育主事の増員を図っている。 ○実績 平成２５年度は１名が受講し、社会教育主事の資格を取得した。	【成果】 資格を取得した職員は、青少年健全育成等生涯学習の推進に力を発揮している。 【課題】 社会教育主事の受講資格 ①　大学に２年以上在学し、６２単位以上を修得する。 ②　教育職員の普通免許状を有する。 ③　高卒で２年以上社会教育関係の職務に従事している。 等の要件があるため、受講資格を満たす職員の人事配置が必要となる。	A

様式第２号（第４条関係）

事務事業の執行状況　点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点施策	重点目標	平成２５年度の目標	担当課	平成２５年度の実績・成果と課題		評価
社会教育関係団体と人材の育成	飛騨市生涯学習推進会議	生涯学習推進会議 生涯学習関係団体と連携しながら生涯学習施策を推進するため、課題の共有と活動の共通理解を図る。	生涯学習課	〔Ｈ２５決算額〕　３４９千円 ○運営委員会の実施（３回） ○部会、研修会の開催 ・子育てネットワーク部会 ・地域ぐるみの青少年健全育成部会 ・文化・芸術振興部会 ・生涯スポーツ振興部会 ○生涯学習推進大会の開催 第１部　各部会の活動報告 ・子育てネットワーク部会 「絵本でつなぐ地域の子育て」 ・生涯スポーツ振興部会 「ソチパラリンピック出場岩本選手紹介」 第２部　男女共同参画講演会 『母として、妻として、女将として』 講師　　花田　景子氏	【成果と課題】 ①　部会ごとで意見交換を行い、関係諸団体で願いを共有したり、活動の共通理解を図ることができた。その成果を各団体の活動に具体的に結びつけていきたい。 ②　今年度の推進大会は、男女共同参画講演会と共催して「花田景子」講演会を行い、多くの女性が参加した。あわせて、子育てをテーマとした実践発表や子育て支援団体の紹介コーナーを設けるなど、特に女性の方が生涯学習について考える機会となった。	A

様式第２号（第４条関係）

事務事業の執行状況　点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点施策	重点目標	平成２５年度の目標	担当課	平成２５年度の実績・成果と課題		評価
ライフステージに応じた生涯学習の推進	飛騨市誰でも自主講座	生涯学習講座（公民館講座） ①　市民の「教えたい」という気持ちを具現化するため、市民提案型の公民館講座を実施する。 ②　「各種団体・サークル紹介」を掲載したチラシを各戸に配布し、飛騨市内における生涯活動を広く市民に紹介する。 ③　名人登録を行い、情報提供を行う。	生涯学習課	〔Ｈ２５決算額〕　５６千円 ○実施講座　　４７講座 ＜誰でも自主講座＞ ・前期講座　企画　３６講座 　　実施　３０講座 ・後期講座　企画　２２講座 　　実施　１７講座 ○参加人数　　延べ　２，０７０名 （主な講座） ≪地域に関する講座≫ 飛騨古川の歴史講座、金森可重公の遺跡めぐり ≪趣味・教養講座≫ ・着付け、カラオケ、編み物、陶芸、アロマテラピー、英会話、グラスアート、大正琴、日本舞踊、三味線 ≪スポーツ・レクリエーション≫ ・ヨガ、ケアビクス、合気道、自力整体 ○各種団体・サークル紹介 ○名人の登録（随時） ○成果発表の場を提供 飛騨市図書館（展示の森）で作品展示	【成果】 ①　市民が有する知識や技能を活かし、地域で活躍できる場を提供できた。誰でも講師になれるため、講座の質が保証できない場合もあるが、それ以上の講座を開設できた。 ②　趣味や教養を身に付けるための生涯学習の場を提供できた。 ③　各種団体・サークル紹介により、活動をＰＲすることができた。 ④　講座終了後にサークル活動に移行した講座がある。 （大正琴・カラオケ・グラスアート） 【課題】 ①　講座内容や地区ごとの開講数にかたよりが生じる。 ②　若年層や男性の参加が少ないことに対応する講座の開設。	A

様式第２号（第４条関係）

事務事業の執行状況　点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点施策	重点目標	平成２５年度の目標	担当課	平成２５年度の実績・成果と課題		評価
ライフステージに応じた生涯学習の推進	高齢者学級	高齢者学級 高齢者を対象に、ふれ合いや学ぶ喜びを大切にし、年齢にあったふさわしい社会的能力を高める場として開催する。	生涯学習課	〔Ｈ２５決算額〕　２７５千円 飛騨市４町において高齢者学級を開設 ○神岡町　　月１回　年８回 募集制 ・教養講座、郷土学習、健康体操 ・バスに乗車して地域研修 （東濃の地歌舞伎小屋等の研修） ○河合町　　年２回 対象：老人クラブ会員 内容：健康体操・健康講座 ○宮川町　　年２回 対象：老人クラブ会員 内容：健康講座・教養講座 ○古川町　　月２～４回 対象：老人クラブ会員、募集制 内容：園芸・ダンス・郷土史・手芸・囲碁の５教室を開催	【成果】 ①　高齢者が集い、学び、交流する場として定着し、参加者にも好評である。 ②　健康に関わる講座、郷土の歴史講座など、身近なテーマを取上げ、生きがいづくりに繋げることができた。 ③　実地研修や身近な地域の方の話から地域を振り返ることができた。 ④　防災教室など社会の変化に応じた学びの場を提供することができた。 【課題】 活動形態が４町で異なるが、地域の特色を生かして継続したい。	A

様式第２号（第４条関係）

事務事業の執行状況　点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点施策	重点目標	平成２５年度の目標	担当課	平成２５年度の実績・成果と課題		評価
ライフステージに応じた生涯学習の推進	飛騨市文化協会補助金	文化協会補助金 飛騨市の文化・芸術振興に文化協会が果たす役割は多大なものがある。よって、市民主体で行われる文化活動や文化交流を支援し、組織強化を図る。	生涯学習課	〔Ｈ２５決算額〕　３，１９４千円 ○事業 ＜継続事業＞ ・日展見学（2/4） ・飛騨市芸能祭（3/9） ・文化の薫り展（9/28～10/6） ・飛騨市俳句大会・短歌大会（10/19） ・広報紙発行（年４回） ・その他各支部事業（年間） ＜新規事業＞ ・後継者育成事業「初級短歌教室」の開催 ・文学散歩の開催 ＜支部活動＞ ・古川支部 　芸能公演（10/27） 　文化祭　（11/3～11/4） ・神岡支部 　文化祭　（9/15～11/17） 　芸能祭　（10/20・10/27） ・河合支部 　文化祭　（11/2～11/3） ・宮川支部 　文化祭　（10/26～10/27）	【成果】 ①　文化の薫り展（39 名）、芸能祭（12 団体 600 名）、日展見学（69 名）などの文化振興事業により、会員の文化活動や文化交流の支援とともに、市民が文化芸術に親しむ機会を提供することができた。 ②　短歌大会・俳句大会では、多くの高校生が参加（短歌大会 169 名・俳句大会 117 名）する大会となり、世代を超えた文化芸術振興の推進に貢献している。 ③　会員の高齢化と減少が進む中、後継者育成事業として「初級短歌教室」を開催したところ、19 名の参加があり、新たな愛好家を育成することができた。 【課題】 ①　長年の課題である会員の高齢化・減少による今後の運営体制について引き続き検討 ②　本部と支部の連携強化 ③　事業内容の見直し	A

様式第２号（第４条関係）

事務事業の執行状況　点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点施策	重点目標	平成２５年度の目標	担当課	平成２５年度の実績・成果と課題		評価
生涯学習環境の整備	生涯学習施設の整備を行い、よりよい環境での生涯学習の推進	・神岡町公民館舞台吊物改修工事 ・神岡町公民館火災報知機器更新工事 ・神岡町公民館小会議室改修工事 生涯学習施設の整備を行い、より良い環境での生涯学習を推進します。	生涯学習課	○舞台吊物改修工事年次計画 ・平成２２年度《１年目》 天井反射板１（モーター、ブレーキ、プーリー、ベルト・ワイヤーロープ他） ・平成２３年度《２年目》 天井反射板２、手動吊物機構（バトン２・３、網元ロープロック、ガイドシュー他） ・平成２４年度《３年目》 緞帳機構（モーター、滑車、ワイヤーロープ他） ・平成２５年度《４年目》最終 手動吊物機構１１台、スクリーン機構、天井反射板３機構（H25 決算額 14,910 千円） ○火災報知機器更新工事（H25 決算額 8,400 千円） 老朽化による自動火災報知設備の故障について指摘を受けていたため、更新した。 ○小会議室改修工事（H25 決算額 1,292 千円） 教育振興係事務所の公民館小会議室室内移転に伴い、管内の証明操作スイッチボックスの設置、LAN 配線工事、電源工事、エアコンの設置、タイルカーペット敷設等を行った。	【成果】 定期的な改修により、安全に使用ができることとなった。 【課題】 ①　音響、照明、舞台装置の改修及び運営スタッフの育成 ②　三つ折り緞帳の吊り下げ箇所の補強修繕とクリーニング。（他ホールで落下傷害事故が発生） ③　ステージ幕の新調。（老朽化により防煙加工がとれ、生地が裂けている） ④　管内全体の内装リフォーム。	A

様式第２号（第４条関係）

事務事業の執行状況　点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点施策	重点目標	平成２５年度の目標	担当課	平成２５年度の実績・成果と課題		評価
地域の歴史や文化財の保護と継承	文化財総合調査	文化財総合調査事業 文化財の指定については、町村合併前の指定をそのまま引き継いだため、同じような歴史や背景があっても、文化財として指定しているものとそうでないものが混在している。飛騨市として、統一した基準を作成する。	生涯学習課	報　酬　　３３，０００円 報償費　　７８，９８０円 旅　費　　４６，８６０円 計　　１５８，８４０円	【成果】 指定文化財（史跡・天然記念物・建造物）について、順次調査を進めており、本年度は史跡について調査を行った。	A

様式第２号（第４条関係）

事務事業の執行状況　点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点施策	重点目標	平成２５年度の目標	担当課	平成２５年度の実績・成果と課題		評価
地域の歴史や文化財の保護と継承	発掘調査	発掘調査事業 一般住宅建設に伴い、基礎部の掘削による遺跡への影響がある３箇所について発掘調査を行う。	生涯学習課	上町遺跡地点 ○上町遺跡３０次（３，０３２千円） 古墳時代の竪穴建物跡など確認 ○上町遺跡３３次（４，８８４千円） 古墳時代初頭の方形周溝墓、古墳時代後期の竪穴建物跡など確認 ○上町遺跡３７次（４，２８３千円） 平安時代の竪穴建物跡９軒、大型堀立柱建物跡２軒など確認 ○黒内細野遺跡　（６，０９０千円） 平成１０年度に発掘調査を実施した黒内細野遺跡において、土器の復元・実測図・報告書原稿執筆などの整理作業を行った。	【成果】 ①　上町遺跡の記録保存を行うことができた。今後、報告書にまとめ刊行する予定。 ②　黒内細野遺跡については報告書作成に向けての整理作業を実施した。 【課題】 ①　住宅建設と発掘調査の工程調整が難しい。 ②　発掘調査を行うことで、住宅建設期間が延びることから、仮住まいとしてアパートを借りている場合、経済的な負担がかかることから、早期に発掘調査を完了する必要がある。	A

様式第２号（第４条関係）

事務事業の執行状況　点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点施策	重点目標	平成２５年度の目標	担当課	平成２５年度の実績・成果と課題		評価
地域の歴史や文化財の保護と継承	文化財保護補助事業	文化財保護修理事業補助 緊急性及び重要性を要する国、県及び市指定文化財の保護修理保存のために必要となる修繕経費等の一部を補助し、貴重な文化財を後世に残す。	生涯学習課	①　県指定古川祭屋台　鳳凰台組屋台 猩々緋胴幕新調　１，４９６千円 ②　県指定古川祭屋台　麒麟台組屋台 上段御簾・吊金具修復　３，４４９千円 ③　県指定津島神社社叢保護事業 ２，４２２千円 ④　市指定畦畑公民館屋根修繕事業 ３９０千円	【成果】 限りある予算の中で、適切に修繕できた	A

様式第２号（第４条関係）

事務事業の執行状況　点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点施策	重点目標	平成２５年度の目標	担当課	平成２５年度の実績・成果と課題		評価
地域の歴史や文化財の保護と継承	保存会事業補助	保存会事業補助 文化財の保護、継承を図るため、文化財の保存等に必要と認める事業を行う団体又は、個人に補助する	生涯学習課	各保存会事業補助 ・古川祭保存会　３００千円 ・小萱薬師堂保存会　２１千円	【成果】 ①　国指定文化財の適切な保存に努めることができた。 ②　古川祭保存会について、本年度「ユネスコ無形文化遺産一覧表」への提案に係る同意書を文化庁へ提出。その後、平成２６年３月に無形文化遺産保護条約関係省庁連絡会議の審査・決定を受け、ユネスコへ提出。 ※　今後、平成２８年度にユネスコにて審査。	A

様式第２号（第４条関係）

事務事業の執行状況　点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点施策	重点目標	平成２５年度の目標	担当課	平成２５年度の実績・成果と課題		評価
地域の歴史や文化財の保護と継承	試掘確認調査	緊急発掘調査事業 飛騨市内において、大規模な開発が予想される地域の埋蔵文化財の所在、範囲及び性格を明らかにするためにトレンチ掘削による、遺構の有無及び土層堆積状況を確認する。	生涯学習課	緊急発掘調査３件 上町遺跡１件、金森宗貞邸跡１件 （事業費）８４０千円	【成果】 ①　各々の試掘調査により、開発事業への影響の有無を確認することができた。 ②　上町遺跡の１件については、本発掘調査を行う必要があり、設計等を行うため、予想土量や予想出土遺物についての情報を得た。	A

様式第２号（第４条関係）

事務事業の執行状況　点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点施策	重点目標	平成２５年度の目標	担当課	平成２５年度の実績・成果と課題		評価
心を豊かにする文化芸術の推進	文化振興補助事業	飛騨市地域文化振興事業補助 地域文化振興補助金事業について、地域における文化及び芸術の振興を図るため、文化・芸術活動を行う団体の事業に要する経費の一部を補助。	生涯学習課	○文化交流センター自主企画事業 １４事業　１３，０００，０００円 ○船津座実行委員会イベント事業 ４事業　３，６０９，５８０円 ○第８回飛騨市民音楽祭 ３６０，８７９円 ○飛越ふるさと芸能・歌謡祭 １３６，１９９円 ○真夏の夜のコンサート １，１５７，０００円 ○河合村芝居　２５０，０００円 ○鴨宮雅子＆斉藤美智子 デュオピアノリサイタル １６６，５０８円	【成果】 ①　本年度から、各団体から提出された事業計画書の審査を行い、合格した団体について助成することとした。 ②　今まで、予算もそれぞれ計上していたが、一体化することで効率的な予算を計上し、無駄がなく、かつ、より公平な助成を行うことができた。 【課題】 広く各団体が利用することが可能となったことから、限られた予算の中で各団体がいかに効率の良い予算を計画するか指導していかなければならない。	A

様式第２号（第４条関係）

事務事業の執行状況　点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点施策	重点目標	平成２５年度の目標	担当課	平成２５年度の実績・成果と課題		評価
心を豊かにする文化芸術の推進	飛騨市美術展開催事業	飛騨市美術展開催補助金 新しい芸術文化の創造を促すとともに、地域文化の振興に寄与し、感動豊かで優れた作品を広く募集し、一般に公開する。	生涯学習課	○応募総数　　１７３点 （日本画１５点・洋画４４点・写真４５点・書４７点・工芸２０点・彫刻２点） ○飛騨市美術館で開催 ９月１１日～９月１６日 ○展示期間来場者数　　１，００９名 ○出品料を１点につき、１，０００円徴収し、運営した。 補助金　　６６１千円	【成果】 ①　昨年に比べ、出展数が増えた。 （昨年度１４６点） ②　６回目より１部門２人の審査員で、より公平な審査が実施されている。 【課題】 美術展は市の補助事業で、主催は飛騨市美術展運営協議会であり、その下の運営委員会（主に文化協会員で構成）が行う形となっており、教育委員会が事務局として事務を補助しているが、体制について検討が必要。	A

様式第２号（第４条関係）

事務事業の執行状況　点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点施策	重点目標	平成２５年度の目標	担当課	平成２５年度の実績・成果と課題		評価
心を豊かにする文化芸術の推進	飛騨市美術運営催事業	飛騨市美術館企画、開催事業 飛騨市出身あるいはゆかりの作家の作品を中心とした常設展及び企画展を開催し、美しいものにふれ感動する空間、親しみのある美術館を目指す。	生涯学習課	飛騨市美術館の企画展として４回開催 ○第５回飛越美術交流展 H25.3.16～H25.4.21　入館者数 1,025 人 ○縄文の魅力展 H25.5. 3～H25.6. 9　入館者数　197 人 ○牛丸敏之写真展 H25.6.29～H25.8.25　入館者数　524 人 ○自然科学からみる「黒鉄の美」展 入場者数　932 人 平成２５年度企画展　入館者数　2,678 人 ＜経費内訳＞ 消耗品費　５１,０７９円 印刷製本費　８６,８９８円 運搬費　３１２,１００円 監視業務委託　２１５,７１２円 合計　６６５,７８９円	【成果】 企画展の回数は前年同様であったが、趣向をこらした企画を行うことで入館者が増加し、限られた予算のなか、市民が親しみ、感動する事業とすることができた。	A

様式第２号（第４条関係）

事務事業の執行状況　点検評価シート

飛騨市教育委員会

<table>
<tr><th>重点施策</th><th>重点目標</th><th>平成２５年度の目標</th><th>担当課</th><th colspan="2">平成２５年度の実績・成果と課題</th><th>評価</th></tr>
<tr>
<td>図書館事業の推進</td>
<td>飛騨市図書館管理運営事業</td>
<td>飛騨市図書館管理運営事業

①　利用者のニーズにあった図書の選書と行事の企画やレファレンス業務などサービス向上を図り、気軽に利用できる雰囲気づくりに努める。

②　スタッフは図書館の総合案内人として、利用者が情報の発信や交流を行うことができるよう支援する。</td>
<td>生涯学習課</td>
<td>○図書購入　８，５８９千円
飛騨市図書館　４，８６０冊
神岡図書館　１，３０４冊

○「ひよっこひろば」
<table>
<tr><td>6月14日</td><td>人形劇
「まるぱんころころ」</td><td>12名</td></tr>
<tr><td>7月12日</td><td>七夕・制作
「短冊つくり」ほか</td><td>24名</td></tr>
<tr><td>8月 9日</td><td>せんす作り</td><td>14名</td></tr>
<tr><td>9月13日</td><td>王冠作り</td><td>12名</td></tr>
<tr><td>10月11日</td><td>ペンダント作り</td><td>20名</td></tr>
<tr><td>11月 8日</td><td>小麦粉粘土作り</td><td>22名</td></tr>
<tr><td>12月13日</td><td>クリスマス飾り作り</td><td>18名</td></tr>
<tr><td>1月17日</td><td>鬼のお面製作・豆まき</td><td>14名</td></tr>
<tr><td>2月14日</td><td>絵本作り ほか</td><td>8名</td></tr>
<tr><td>3月14日</td><td>おひなさま人形作り</td><td>16名</td></tr>
<tr><td>総参加者数</td><td colspan="2">１６０名</td></tr>
</table></td>
<td>【成果】
①　新刊や利用者からのリクエストなどから図書を購入することで、図書資料の充実を図ることができた。

②　３歳児を対象に物作りと絵本の読み聞かせ等を実施し、親子で図書に親しむ機会を提供できた。</td>
<td>A</td>
</tr>
</table>

様式第２号（第４条関係）

事務事業の執行状況　点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点施策	重点目標	平成２５年度の目標	担当課	平成２５年度の実績・成果と課題		評価
文化施設・文化交流施設の管理運営	文化交流センター正面玄関コロネード屋根工事	文化交流センター正面玄関コロネード屋根工事 コロネード通路から交流センター正面玄関へのスロープのうち、屋根がない所があり、雨天の場合、コンサートの行列時に濡れたり傘を差したりするなど不都合が生じていたことから、屋根を設置し、その不都合を解消する。	生涯学習課	〔Ｈ２５決算額〕　３，２５５千円 正面玄関コロネード屋根設置　１基 跨線橋側通用口屋根設置　１基	【成果】 屋根を設置したことで、雨に濡れることなくスムーズに通行できることから、利用者に喜ばれている。	A

様式第２号（第４条関係）

事務事業の執行状況　点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点施策	重点目標	平成２５年度の目標	担当課	平成２５年度の実績・成果と課題		評価
地域スポーツ活動の推進	誰もが親しめるスポーツの推進	スポーツ推進委員会 スポーツ活動指導者の発掘・養成に努めるとともに、資質の向上を図る。	生涯学習課	〔Ｈ２５決算額〕　１，９４０千円 ○３３名を委嘱 古　川　　１１名 河　合　　７名 宮　川　　７名 神　岡　　８名 ○市スポーツ推進委員代表者会議 各地区から２名　　随時開催 ○各地区でスポーツ教室等開催 ○スポーツ指導者の派遣 ○市スポーツ推進委員研修会参加 ○飛騨地区スポーツ推進委員研修会参加 （下呂市） ○東海四県スポーツ推進委員研究大会運営協力・参加　（高山市）	【成果】 ①　随時に代表者会議を開催し、各地区の情報交換を多く行った。 ②　高山市で開催された、東海四県スポーツ推進委員研究大会の運営協力や、さらなる一体化を図るため、スポーツ推進委員全員の研究会を実施により、スポーツ推進委員としてのあり方を認識し、質の高い活動をすることができた。 ③　新たに、ノルディックウォーキングの普及に取り組んだ。 【課題】 市民のニーズや要求に応えた新規事業の開拓に努めたい。	A

様式第２号（第４条関係）

事務事業の執行状況　点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点施策	重点目標	平成２５年度の目標	担当課	平成２５年度の実績・成果と課題		評価
地域スポーツ活動の推進	飛騨市体育協会補助事業	体育協会補助金 【基本目的】 「生涯スポーツの更なる推進」 【具体的目標】 ①　全ての市民がスポーツに親しむ機会を拡充する。 ②　更なる市民スポーツの振興を目指し、施設の整備と充実に努める。 ③　顕彰事業 ④　組織の充実	生涯学習課	〔Ｈ２５決算額〕　１，７７６千円 ○市民スポーツ大会の実施、飛騨地区大会・県民スポーツ大会における選手団派遣を実施。 ○本部組織と各町支部組織との緊密な連携、意思統一を図った。 ○総会においてスポーツ功労者・特別表彰を行い、スポーツの振興・普及に尽力された市民を称えた。（スポーツ功労者、２名・特別表彰、１３名） ○本部、各町支部による各種大会を開催した。	【成果】 ①　各支部組織との連携・情報交換を行ったことで、体育協会事業が円滑に実施された。 ②　毎年行っている大会について実施することができた。 ③　大会結果を市 HP に掲載するなど、広報活動を行った。 【課題】 ①　どの大会も参加人数の減少がみられる。少人数でできる種目を取り入れる、地域をまたいでの参加もできるようにするなど気軽に参加できる大会とする必要がある。 ②　市民に分かりやすく親しみやすい、体育協会となるよう更なる広報活動に努めたい。	A

様式第２号（第４条関係）

事務事業の執行状況　点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点施策	重点目標	平成２５年度の目標	担当課	平成２５年度の実績・成果と課題		評価
地域スポーツ活動の推進	飛騨市スポーツ少年団育成事業	スポーツ少年団補助金 リーダー、母集団、指導者の育成を行うとともに、各単位団の団員同士の交流を図る。	生涯学習課	〔Ｈ２５決算額〕　１，０３０千円 ○登録団数　２８団 ○登録団員　約７００名（小１～中３） ○各種目の大会にスポーツ少年団として参加 ○飛騨市スポーツ少年団事業のほか、飛騨地区の事業にも参加 ○団員交流事業（１月２５日） ・５０名の団員が参加して、レクリエーションや軽スポーツで交流した。 ○母集団育成事業（６月２６日） ・８６名の育成者・指導者が参加して、熱中症について学んだ。 ○リーダー育成事業（７月２４～２５日） ・７５名の団員が参加して、国立能登青少年交流の家で研修した。 ○指導者育成事業（１１月２０日） ・４７名の指導者・育成者が参加して、リスクマネジメントについて学んだ。	【成果】 ①　団員交流やリーダー育成など、団員が対象となっている事業には多くの参加者があった。 ②　母集団研修では、スポーツ少年団に長年貢献した指導者や育成者の表彰を行うとともに、保護者にも分かりやすく実践しやすい内容の講義を行ったため、参加者も多く充実した研修となった。 【課題】 指導者がほとんど替わらないため高齢化している。継続的な若い指導者の発掘、育成が必要である。	A

様式第２号（第４条関係）

事務事業の執行状況　点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点施策	重点目標	平成２５年度の目標	担当課	平成２５年度の実績・成果と課題		評価
地域スポーツ活動の推進	スポーツイベントの実施	スポーツフェスティバル 【目的】 子どもからお年寄りまでが気軽に参加できる種目・競技内容とすることで、市民誰もがスポーツに関心を持ち健康づくりを図る。	生涯学習課	〔Ｈ２５決算額〕　９０９千円 ○「飛騨市合併１０周年記念事業」 飛騨市古川町スポーツ フェスティバル 2013 平成２６年１０月１３日 会場：飛騨市森林公園一帯 内容：体力測定・軽スポーツ ウォークラリー・１０種競技など 参加者　約　１，３００人 関係者　約　　２００人 計　　約　１，５００人	【成果】 ①　晴天に恵まれ、前年より来場者が増加した。 ②　２５年度は体を動かすことだけではなく、飛騨市栄養士会の協力により、食品サンプルを使っての栄養チェックを行い、食生活という観点からも健康を考えてもらう機会を提供した。 【課題】 競技の内容、実行委員会の体制、予算の組み方等、検討していきたい。	A

様式第２号（第４条関係）

事務事業の執行状況　点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点施策	重点目標	平成２５年度の目標	担当課	平成２５年度の実績・成果と課題		評価
地域スポーツ活動の推進	山の村だいこんマラソン大会補助事業	（第１５回） 山の村だいこんマラソン 標高 1,000mの山之村高原を舞台とし、雄大な自然の中でマラソンを楽しむ機会を提供する。	生涯学習課	〔Ｈ２５決算額〕　１，０００千円 と　き：平成２５年９月１５日（日） ところ：山之村牧場　（４コース、１６部門） 参加者：１，２２４名（申込者、１，４４７名） 当日は、参加者のほかに、その家族や大会関係者など約１，５００名を超える人が集まった。牧場や地元の方によるバザー、山之村小中学校による催しなどで大会を盛り上げた。第１５回記念大会のためゲストランナーに朝原宣治氏を招いた。	【成果】 ①　市内外の参加者が一堂に会し、マラソンを通して、山之村と都市との人々の交流が図れた。 ②　特産品である大根やほうれん草を参加賞とすることで、山之村地区のＰＲとなった。 ③　バザーで飛騨市特産品を提供することで、飛騨市のＰＲとなった。 【課題】 参加者が年々増加しているため、今回から１，５００名の参加制限を設けたが、大会運営を見直しや参加者に合わせたスタッフ体制の充実を図りたい。	A

様式第２号（第４条関係）

事務事業の執行状況　点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点施策	重点目標	平成２５年度の目標	担当課	平成２５年度の実績・成果と課題		評価
地域スポーツ活動の推進	スポーツイベントの実施	元旦マラソン （第４３回飛騨市古川町体力づくり） 【目的】 新春を笑顔で迎え、輝かしい一年のスタートを祈念するとともに、飛騨市民の健康づくりを図る。	生涯学習課	〔Ｈ２５決算額〕　３７７千円 ○「飛騨市合併１０周年記念事業」 第４３回飛騨市ふるかわ元旦マラソン 平成２６年１月１日 会場：飛騨市古川町市街地マラソンコース 内容：マラソンイベント ただし、タイム測定や順位付けはなし。 【参加者数】 Ａコース　４１９人 Ｂコース　２０５人 Ｃコース　２１６人 計　８４０人 スタッフ　４４人 総　計　８８４人	【成果】 ①　降雪量が少なかったため全体的にスムーズに進行できた。 ②　ゲストランナーに中京高校の選手２名、古川中学校駅伝部の参加、ファミリー賞やパフォーマンス賞の贈呈により場を盛り上げた。 ③　恒例の「花火」による号砲も打ち上げた。 ④　近年の健康志向によるものか最長コース（４．２㎞）の参加が増えている。 【課題】 ①　昭和４７年の元旦から続く伝統行事であり、今後も長く続けていきたい行事である。今後もスポーツ関係団体を中心に広く市民に参加を呼びかけ、子どもから大人まで幅広い参加者を募りたい。 ②　スポーツ推進委員、体育協会、社会体育委員等複数の団体により運営しているが、実行委員会の体制、予算の組み方等を検討していきたい。	Ａ

様式第２号（第４条関係）

事務事業の執行状況　点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点施策	重点目標	平成２５年度の目標	担当課	平成２５年度の実績・成果と課題		評価
地域スポーツ環境の充実	スポーツ施設の整備	坂巻公園グラウンド トイレ新築工事	生涯学習課	【実績】 平成２５年１２月１３日　工事着工 平成２６年　３月２５日　完　成 トイレ新築:木造平屋建　Ａ＝３５．８１㎡ 事業費：１５，０１５，０００円	【成果】 ①　公園入口でもあり、防犯上もより安全になった。 ②　水洗化し、身障者トイレも設置したことから、誰でも安心して使用できるようになった。 【課題】 不特定多数の人が使用するので汚れやすい。建物内外ともに清潔を保てるように、清掃・点検等の徹底を図りたい。	Ａ

様式第２号（第４条関係）

事務事業の執行状況　点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点施策	重点目標	平成２５年度の目標	担当課	平成２５年度の実績・成果と課題		評価
地域スポーツ環境の充実	スポーツ施設の整備	山田体育館 屋根改修工事	生涯学習課	【実績】 平成２５年１０月　３日　　工事着工 平成２５年１２月１３日　　完　　成 屋根改修：屋根葺き工事（カバー工法） Ａ＝９８９㎡ 事業費：１２，２４４，０５０円	【成果】 屋根のかぶせ工法により、雨漏りを防ぐことができた。安心して利用できるようになった。 【課題】 屋根だけではなく、建物全体の老朽化に対して、維持管理面での注意が必要となる。	Ａ